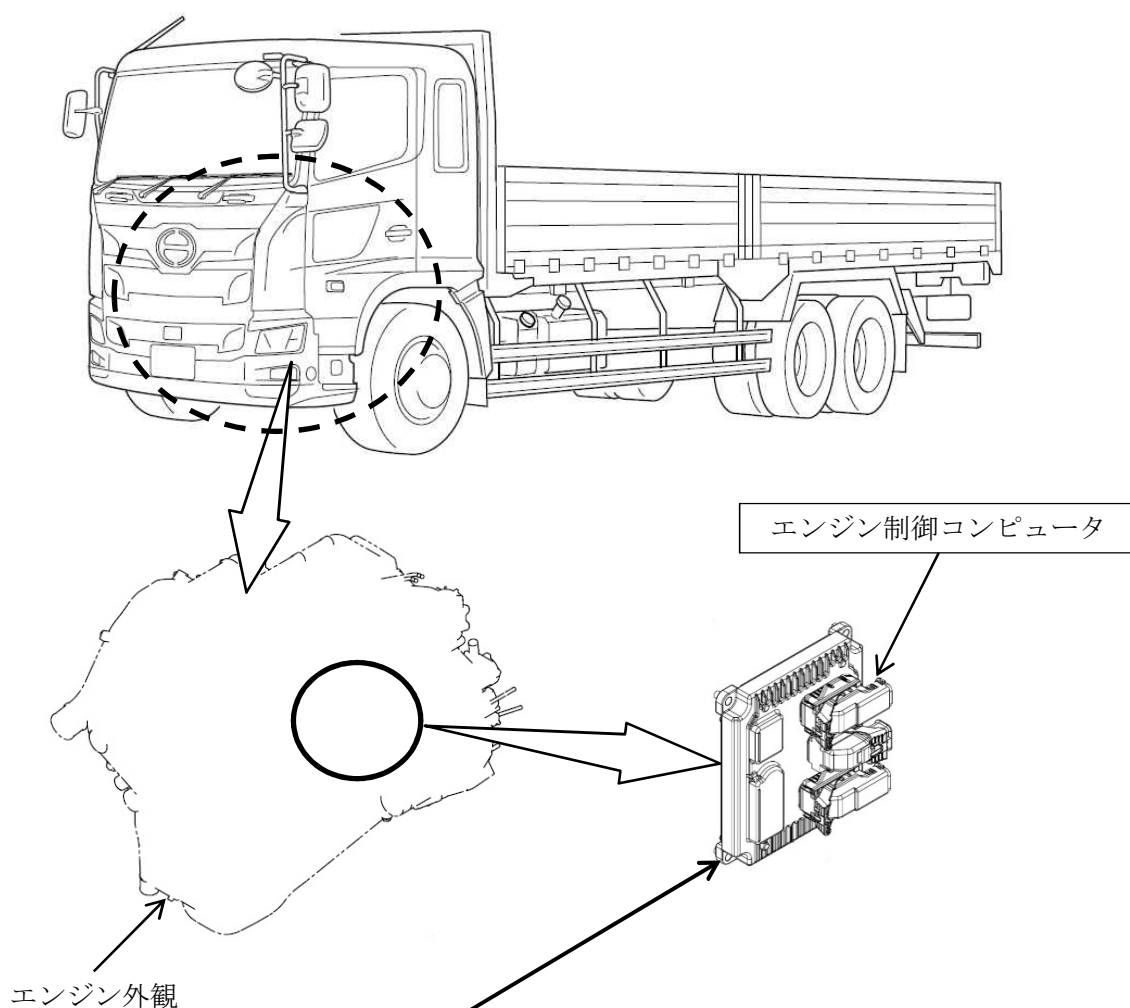


改善箇所説明図



注：□はプログラムを書き換える部品を示す。

エンジン制御コンピュータにおいて、始動時の回転数制御が不適切なため、オイルポンプの性能ばらつきやエンジンオイルの量により、油圧が発生しないものがある。そのため、油圧警告灯が点灯し、そのままアイドル回転を続けると軸受部が損傷して、異音が発生するとともに、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容：

全車両、エンジン制御プログラムを対策プログラムに書き換える。なお、油圧警告灯点灯履歴があるものについては、異音・振動、オイル状態及びメタル摩耗粉の有無を点検し、異常が認められるものはエンジンを新品に交換する。

識別：改善済車両には、ネームプレートに黄色ペイントを塗布する。